

重井小中学校の学校再編に係る重井小中学校保護者説明会（第2回）議事録

- 1 日 時 令和6年11月20日（水） 19:00～20:45
- 2 場 所 重井公民館
- 3 参集者 就学前児童保護者7名、重井小中学校保護者12名
- 4 説明者 宮本教育長、中濱教育総務部長、小柳学校教育部長
 榎原因島瀬戸田地域教育課長、安保学校経営企画課長、金子教育指導課長
 小田因島瀬戸田地域教育課地域教育係長、宮崎学校経営企画課企画振興係長（司会）

5 進 行

担 当	内 容
司会者	<p>（19:00 開会）</p> <p>本日はお集まりいただきましてありがとうございます。これから第2回保護者説明会を始めます。本日の会は挨拶・説明に約35分、質疑に約1時間25分いただき、概ね2時間を考えております。よろしく願います。</p> <p>初めに、教育長よりご挨拶申し上げます。</p>
宮本教育長	<p>（教育長挨拶）</p> <p>皆様こんばんは。教育長の宮本でございます。開会にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。昼間のお仕事等で大変お疲れのところ、本説明会にお集まりいただきまして誠にありがとうございます。</p> <p>最近、重井小学校、重井中学校ともに大変うれしいことがございましたので、はじめに、そのことについてお話をさせていただきたいと思っております。</p> <p>まず、重井小学校でございますが、平成21年度から総合的な学習の時間を中心に、地域の皆様のご指導の下、特産物であるワケギの栽培活動や販売活動等に取り組み、この度、長年の活動が高く評価されまして、広島県食育推進功労者表彰を受賞されました。誠におめでとうございます。</p> <p>次に重井中学校でございますけれども、先月開催いたしました、尾道市小中学校芸術祭中学校音楽コンクールにおきまして、審査員奨励賞を受賞されました。私もコンクール当日、会場で重井中学校の生徒の合唱を聴かせていただきましたけれども、とても伸びやかできれいなハーモニーに大変感動しました。</p> <p>この両校の受賞は、子どもたちの頑張りは勿論ですけれども、保護者や地域の皆様が、学校へご支援をいただいている、その賜物ではないかと大変感謝しております。この度は誠にありがとうございました。</p>

さて、本日の説明会の流れについてでございますけれども、もしかすると今日初めて参加して下さっている方もおられるかもしれないと思ひまして、はじめに、第1回保護者説明会の提案内容のポイントを再度説明させていただきたいと思ひます。

次に、第1回保護者説明会後に実施いたしました、保護者アンケートでいただいた質問の中で、第1回保護者説明会の質疑の中で出ていなかった内容を中心に説明させていただきたいと思ひます。

また、前回重井地域の皆様からいただきました校名変更の要望についてでございますが、9月27日の因北小中学校保護者説明会でお伝えをしまして、因北小中学校の保護者を対象とした保護者アンケートで、校名についての意見をいただきました。さらに、10月9日に因北地域の説明会を行ひまして、校名変更の要望についてお伝えをいたしました。そして、質疑応答の場で意見をいただいております。

こうした取組を踏まえまして、校名について、教育委員会で検討しました結果を本日改めてご説明させていただきたいと思ひます。教育委員会からの説明の後、皆様からのご意見ご質問にお答えしてまいりたいと思ひますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

以上、開会の挨拶とさせていただきます。

(事務局からの説明)

1 第1回説明会の提案内容について

○重井小中学校の学校再編について

本日は、第2回保護者説明会にお越しいただきありがとうございます。これから、子どもたちの未来を拓く、小中一貫教育校による新たな学びの創造と題して、重井小中学校の学校再編について説明をさせていただきます。

教育委員会では、再編後の学校の姿として、「子どもたちが元気に明るく学校に通い、切磋琢磨しながら生き生きと学ぶことができる学校」、「保護者・地域から愛され、誇りに思える学校」を目指していきたくと考えています。本日の説明は、スライドにあるように、大きく4点。

1 第1回説明会の提案内容について

○重井小中学校の学校再編について

○小中一貫教育校について

2 重井小中学校保護者アンケートへの回答について

3 重井小中学校の学校再編・校名の方向性について

4 今後のスケジュール(案)について の順で説明をいたします。

金子教育指導
課長

それでははじめに、1 第1回説明会の提案内容について、改めて確認しておきます。

重井小中学校の学校再編について、令和9年度、重井小学校と因北小学校は因北小学校に、同じく令和9年度、重井中学校と因北中学校は因北中学校に学校再編します。学校施設は、因北小学校、因北中学校とします。令和9年度の学校再編と同時に、小中一貫教育校へ移行することを目指します。

○小中一貫教育校について

小中一貫教育校は、市内小中学校の教育環境や教育内容の充実を図っていく上でのモデルとなり、他の中学校区と切磋琢磨しながら尾道全体の教育の質の向上を目指す学校です。

尾道市内2番目となる小中一貫教育校で新たな学びを創造し、尾道スタンダードとして市内へ発信していきます。

提案している小中一貫教育校は、因北小学校、因北中学校の2つの学校からなり、それぞれの学校に校長が配置され、教職員組織があります。小中一貫教育校は、小学校と中学校が、共通の学校教育目標や目指す子ども像の下、義務教育9年間を通した系統的な教育課程を編成します。このことにより、これまで以上に魅力的で子どもたちに力を付けることのできる教育が可能になると考えています。

また、教育研究の研究主題や、生徒指導規程等、学校運営上必要な事項の多くが小学校と中学校で共通となるため、授業や生徒指導において、教職員が共通の指導方法で9年間児童生徒に対応することが可能となり、子どもたちにとっても、小学校から中学校へスムーズに接続することができると考えています。

小中一貫教育校では、コミュニティ・スクール化、小学校に専科教員の配置、中学校に不登校支援のためのSSRというスペシャルサポートルームの設置、小学校に通級指導教室という通常学級に在籍する学習障害や注意欠陥多動性障害等の児童に対して、児童一人一人の障害の特性に応じた特別の指導を週に2時間程度行う通級指導教室の設置、ALTの常駐化、学校司書の配置、スクールソーシャルワーカーの常駐化等を行い、教育環境の充実に力を注いでいきます。

教育内容については、目指す子ども像や育てたい資質・能力を小中9年間の一体的な学びで実現させていくためには、これまで各学校が培ってきた学びを大切にしながら、新しい学校の特色を出していくことのできる教育内容を創っていくことが大切であると考えています。

尾道市では今年度から「グローバル」「ローカル」「尾道らしさ」を推進する事業を進めています。小中一貫教育校では、尾道「因島」らしさを土台として、「グローバルな学び（世界を意識した学び）」と、「ローカルな学び（尾道「因島）」という地域を活かした学び」を組み合わせ、尾道「因島」らしさのある9年間の教育内容を創造し、子どもたちに知・徳・体のバランスのとれた「生きる力」の育成を図っていきます。

これは児童生徒が成長した姿を発表するイメージ例です。

左側は、小学校での学びの集大成として、総合的な学習の時間等で学んだ「ふるさと学習」の学びを発表する場のイメージです。保護者や地域の方と、子どもたちの成長を喜び合いたいと考えています。

右側は、中学校で、小中9年間の学びの集大成としての「因島からの政策提言発表会」のイメージです。夢の実現や社会的自立に向け、地域に貢献することのできる生徒の姿を、保護者や地域の方に見ていただきたいと考えています。

このような因北中学校区小中一貫教育校の学びを、市内全体に発信、普及していきます。

ここまでが前回説明会の振り返りとなります。

2 重井小中学校保護者アンケートについて

榎原因島瀬戸
田地域教育課
長

ここからは、第1回保護者説明会アンケートの回答状況を紹介いたします。資料1をご覧ください。

アンケート回答期間は8月23日（金）から9月6日（金）まででした。重井小中学校の児童生徒数は76人、家庭数は小学校40、中学校21、計61家庭です。ただし、小中学校の重複は考慮しておりません。回答数は小学校25人、中学校13人で、計38人、回答率は62.3%でした。

まず、保護者アンケートでいただいた意見等を紹介いたします。配布資料1をご覧ください。

質問1 重井小中学校の学校再編案（説明内容）についてのお考えをお聞かせください。回答件数は13件でした。

回答内容として、「小中一貫教育校にする目的と現在の教育方法との違いを教えてください。」「資料について理解できた。」「中学校の通学対策について、学校までバスがあれば良い。」「書面では分かりにくいので次回は説明会に参加したい。」「少人数ならではの教育ができて重井小学校は残してほしい。」「重井小中を残してほしい。」「保護者の思いがあまり反映されていない印象。」「因北小になれば不登校になるでしょう。

教育委員会は子どものことを考えていない。」「もっと早く尾道本土の学校のように対応してほしい。」「重井小中の良さを因北小中でも生かしてもらいたい。」でした。

次に、質問2、回答件数は10件でした。1件の中に複数の意見がありました。

「学校行事開催の時には、駐車スペースについて配慮してほしい。」
「中学校の部活動施設（テニスコート、小学校の活用）について充実させてほしい。」
「スクールバスの時間、便数について具体的にどうなるのか。」
「地域の意見も大事だと思うが、一番大事なのは学校に通う生徒だと思う。」
「可能であれば、今入学している児童が卒業するまで存続してほしい。」
「重井や中庄、大浜、鏡浦、外浦、西浦を大事に思える教育を推進してほしい。」
「中学生の自転車通学に備えて通学路の安全対策をしてほしい。」
「金銭面で負担のかかるものは、全額教育委員会が負担してほしい。」
「制服や体操服の支給についてはどうなるのか。」
「閉校後の跡地利用はどうなるのか。」でした。

次に、配付資料2 保護者アンケートへの回答をご覧ください。この配付資料は10月15日付で、学校から保護者の皆様へ配付している資料と同じものです。ここでの説明は、第1回説明会の質疑の中で出ていなかった質問についての回答を中心に説明させていただきます。

スライドは15、資料2は4ページをご覧ください。

中学校の部活動について

「11 中学校の部活施設についても充実させるのか。運動公園を土曜や休み期間で集合できる曜日は第2グラウンドとして活用してほしい、子どもからも因北中はテニスコートが1面で充実した練習時間が確保できるか不安の声も聞いている。」という意見について、回答させていただきます。

因北中学校のソフトテニス部はテニスコート1面で活動をしております。これまで、敷地面積の都合により、敷地内にテニスコートの増設はしておりません。そのため、学校では、1か月の中で土曜日に数回程度、因島運動公園のテニスコートを利用し部活動を行っております。

今後も、練習内容や指導方法を工夫し、因島運動公園の利用回数の見直し等も検討することで、生徒の部活動に対する意欲や技術の向上を図っていきたいと考えております。

また、全ての部活動について、生徒数に応じた部活動編成にすることが必要だと考えております。再編後は、スポーツ、音楽、文化、地域の

特色を活かした太鼓・囲碁等、子どもたちの興味・関心に応じた選択肢のある部活動を再編成し、活性化を図りたいと考えております。

「12 統合に当たり、部活等で中学校のグラウンドや体育館等が足りずに部活動の時間が取りにくい場合は、一貫教育の枠組みで、小学校のグラウンドや体育館を相互開放して施設の有効活用はできないか。」というご質問をいただいております。

学校行事や部活動等を実施する上で、小学校と中学校の施設を相互に有効活用することは可能であると考えております。例えば、小学校のグラウンドや体育館の放課後使用については、小中学校が連携し、小学校の使用に不都合が生じない範囲内であれば可能であると考えております。

制服や体操服の支給等保護者負担軽減について

「13 制服や体操服の支給についての文章が無かったが、どういった内容になるのか。統合が分かった上で入学する生徒にも支給してもらえるのか。」というご質問に対してです。

これまで尾道市内で学校再編した小中学校では、再編前年度の小学校1年生から5年生、中学校1年生と2年生には制服や体操服を支給しております。例外として、制服が似ていた場合には、そのまま着用し支給していない場合もございます。

令和9年度、因北小中学校に入学する児童生徒を除き、令和8年度重井小学校に在籍する1年生から5年生、重井中学校に在籍する1年生と2年生には、制服と体操服の支給を検討してまいります。

学校行事開催時の配慮について

「14 運動会等の行事の時は、重井からだどうしても車を使って保護者は移動するようになるが、駐車スペースは確保できるのか。」

回答させていただきます。

運動会・体育大会や学習発表会・文化発表会等の学校行事を小中合同開催にするか、小学校中学校の単独開催にするかは、小中一貫教育校準備委員会（仮称）の中で検討していくこととなります。

現段階で確定的なことは言えませんが、グラウンドを使用する学校行事の合同開催の場合、単独開催の場合のどちらであっても、小中学校のどちらかのグラウンドを駐車スペースにすることは可能ではないかと考えられます。

グラウンドを利用しない学校行事の参観日や学習発表会・文化発表会

	<p>等については、グラウンドが駐車場となると考えております。</p> <p>跡地利用について</p> <p>「15 学校の閉校後施設はどうするのか。解体して更地にするのか、最低限の維持管理で地域活用するのか知りたい。」というご質問ですが、現在のところ、閉校後の跡地利用については決まっておりません。</p> <p>地域のご意見を参考として伺う場合もありますが、基本的には、教育委員会だけでなく、市全体で公有財産の利活用について検討していくこととなります。</p>
<p>安保学校経営 企画課長</p>	<p>3 重井小中学校の学校再編・校名の方向性について</p> <p>重井中学校区地域説明会において、プレゼン画面にありますように「学校名、校歌、校章を新しくし、新設校にしてほしい。」という意見や要望をいただきました。その中で、「因北小中学校の保護者、地域説明会で伝えてほしい。」と要望がありましたので、因北での説明会において、重井地域の皆様の意見や要望を紹介しました。画面に表示しているのは紹介した意見の一部です。</p> <p>因北中学校区地域説明会での意見を紹介します。</p> <p>「統合時期や今後のスケジュールについては良い。このまま進めてほしい。校名を変えることにはいろんな問題がある。このスケジュールの中で、その問題を解決できるのか。また、学校名、制服、体操服等、保護者の負担になるのではないか。これらの事を考えると、校名を変えることには賛成できない。校名については合意形成を図って決定してもらいたい。」</p> <p>因北小中学校保護者説明会では、校名に関する直接的な意見はありませんでした。</p> <p>次に、因北小中学校保護者アンケートですが、アンケートの回答数は、168人、回答率は45.4%、記述をされていたのは41人です。</p> <p>その中から、「学校名を変更する必要はないのではないか。」という意見は19件ありました。</p> <p>その意見をまとめたものがスライド画面になります。</p>
<p>小田因島瀬戸 田地域教育課 地域教育係長</p>	<p>「変更に伴う費用などを使用するなら子どもたちのために使ってほしい。」</p> <p>「子どもたちのために学校設備に投資してほしい。」</p>

	<p>「通学路やバスの利便性などを重点的に配慮してほしい。」</p> <p>「今まで変わることがなかったのに、この度は変えるのはどうなのか。」</p> <p>「近い将来、因島に小中が1校になるかもしれない。今、学校名を変える必要があるのか。」</p> <p>「一番は児童生徒が楽しく安全快適に過ごせる環境を整えることだと思う。」</p> <p>「すでに統合した学校名が因北なので、変える必要はないと思う。」</p> <p>「大浜小と統合したときも、校歌、校章は変わっていない。」</p> <p>「制服や体操服を新しくするのは、保護者負担が増えるので避けてほしい。」</p>
<p>安保学校経営 企画課長</p>	<p>学校再編についての意見は23件ありました。 その意見をまとめたものがスライド画面になります。</p>
<p>小田因島瀬戸 田地域教育課 地域教育係長</p>	<p>「学校再編の内容については概ね良い。子どもたちや地域にとって良いこと。児童生徒数の事を考えると仕方ない。」</p> <p>「令和9年度に再編になるようですが、もっと早くしてほしい。」</p> <p>「地域の声も大切ですが、保護者や子どもたちの意見を大切にしてほしい。」</p> <p>「子どもたちにとって最善でより良い環境になることを願う。」</p> <p>「就学前から一緒の子もいるので、統合しても問題なく小学校に入学できる。」</p> <p>「子どもたちが誇りを持って、元気に楽しく通う学校にしてほしい。」</p> <p>「すぐにでも再編した方が子どもたちのためだと思う。」</p> <p>「統合するまでに子ども同士の交流する機会を多く作ってほしい。」</p> <p>「今現在の子育て世代の意見や要望を大きく取り入れてもらいたい。」</p> <p>「新しい学校の伝統を創っていくのはこれからの子どもたちだと思う。」</p>
<p>安保学校経営 企画課長</p>	<p>因北中学校区地域からの意見としては、</p> <p>「保護者説明会、地域説明会後に校名変更について話題になることはない。関心が低いのではないか。」</p> <p>「校名や制服等を変えることに予算をかけることには賛成できない。公費と言えども税金である。」</p> <p>「校名変更して表われる効果より、多額の予算をかけて負担が増える</p>

ことが心配である。」

「大浜の統合では学校名を変えなかった。大浜住民の心情にも配慮してほしい。」

「今後も、学校再編に向けては協力する。」

というような意見を聞いております。

ここで、前回提示させていただいた、尾道市教育委員会の学校再編の考え方を再度確認させていただきます。

本市では、子どもたちの安全・安心の確保はもとより、教育環境の充実を目指し、適正な学校規模の確保を基本として、小中学校の学校再編を進めてまいりました。

今回の重井小中学校の学校再編は、(1) 適正な学校規模の確保 複式学級の早期解消という基準に該当するため提案しているということになります。

校名の方向性について、教育委員会の考え方です。

方針は、令和9年度重井小中学校を因北小中学校に学校再編する。

校名及び場所は、因北小学校、因北中学校とする。

令和9年度因北小中学校小中一貫教育校に移行する。

理由として、1点目は子どもたちの教育環境を充実させるということです。

今回の学校再編は、学校再編計画の再編基準に基づいた提案です。重井小学校では、毎年複式学級が生じる。重井中学校では、全校生徒数の減少により小規模化するという状況が見込まれるため、できるだけ早期に、児童生徒が切磋琢磨できる適正規模の教育環境を充実していきたいと考えています。

また、重井小中学校の子どもたちの教育環境を充実させていくと共に、因北小中学校の子どもたちの学びを充実させていくため、小中一貫教育校へ移行し、尾道（因島）らしさのある9年間の教育内容を創造していきたいと考えています。

理由の2点目は、校名変更について、賛同する考えや雰囲気醸成されていないということです。

現在のところ、重井中学校区地域説明会の後、新聞報道もなされ、約2か月が経過しました。また、因北小中学校保護者や因北中学校区地域を対象とした説明会において、重井中学校区地域説明会で出された意見や要望を紹介しました。

これまでに、因北小中学校保護者や因北中学校区地域から、校名変更

<p>榎原因島瀬戸 田地域教育課 長</p>	<p>に対し賛同する意見や要望は出ていません。財政負担への影響、保護者負担の増加、大浜地域への配慮が必要等、校名変更の必要性を疑問視する意見や反対する意見が出ています。</p> <p>因北小中学校の保護者、重井小中学校の保護者、両者ともに、教育環境の充実や通学路の安全対策、通学支援の充実を望む意見や要望が多かったと認識しています。</p> <p>これらの状況から教育委員会として、校名変更はせず、提案通りの方向で進めていきたいと考えています。</p> <p>なお、学校の廃止や校名について、教育委員会としての意思決定は、教育委員会会議ですることとなります。また、その後、尾道市議会に議案として提出し承認されれば最終決定となります。</p> <p>4 今後のスケジュール（案）について</p> <p>ここに提示していますのは、大まかな今後のスケジュールになります。</p> <p>令和7年度からは学校再編が決定したと仮定してのスケジュールとなります。</p> <p>令和6年11月に、重井中学校区保護者説明会・地域説明会、12月に、因北中学校区保護者説明会・地域説明会を実施していきます。</p> <p>また、2月頃に重井小中学校保護者説明会を実施していきたいと考えています。2月頃の説明会では、令和7年度に立ち上げる予定の準備委員会について、推進体制等保護者の皆様に関係する部分について説明できればと考えています。</p> <p>令和7年度は、因北中学校区小中一貫教育校準備委員会（仮称）を立ち上げ、教育内容、通学対策等を協議していくとともに、児童生徒間交流を実施していきたいと考えています。</p> <p>また、重井小中学校閉校記念事業実行委員会の立ち上げについても検討していき、令和8年度末には、重井小中学校閉校式、閉校記念事業を実施できればと考えています。</p> <p>そして、令和9年度から因北中学校区小中一貫教育校をスタートしたいと考えています。</p> <p>「子どもたちの未来を拓く」ために、重井小中学校・因北小中学校保護者、重井中学校区・因北中学校区地域、学校、教育委員会で力を合わせ、因北中学校区小中一貫教育校による新たな学びを創造してまいります。</p> <p>以上で説明を終わります。</p>
--------------------------------	---

<p>司会者</p>	<p>(質疑応答)</p> <p>続いて質疑応答を行います。ご質問等がある方は挙手をお願いします。</p>
<p>質問者 A</p>	<p>1年生の保護者です。うちの子は今、支援級に通っています。本人はね、合併に関してすごく嫌だと、重井で最後は卒業したいと言っているんですね。それをさせてやれないということなんで、すごく辛くて、合併はやっぱり仕方のないことだと分かっています。仕方のないことだとは思っています。そういう支援の特に必要な子は、やっぱり合併となると環境が全て変わると思うんです。友達が一気に増える、先生が変わる、学校も変わるとか。そうなると、本人すごく普通の子よりしんどいと思うんです。そういう子に対してのフォローっていうのはどう考えていらっしゃるのかなというのは、ちょっと親としては聞きたいです。</p>
<p>金子教育指導課長</p>	<p>特別支援学級のお子さんについては、学校が変わる、また集団が変わるというところについては、大きな不安を抱えているというところはおっしゃるとおりだと思っております。そのようなお子さんのこと、あるいは保護者の思いにしっかりと寄り添いまして、新しいところに行っても、しっかりとそれぞれのお子さんの状況把握をして、支援の方はしっかりとしていきたいと考えております。それぞれの学校で、今もしていらっしゃると思いますけれども、個別の教育支援計画あるいは指導計画というものをしっかりと引き継いで、新しい学校の中でも行っていきたいと思っておりますし、特別支援学級あるいは交流学級等を様々なところで厚い支援をしていきたいと思っております、寄り添った支援をできるような体制を作っていきたいと考えております。</p> <p>また、再編2年前から児童間交流を行ってまいります。子ども同士の中で、良好な人間関係を少しずつ2年間かけて培っていきたくと考えております。来年度、小中一貫教育校になります尾道みなと小中学校についても、今年度、特別支援学級は毎月1回程度オンライン、あるいは特別支援学級のお子さんも交流の方をしっかりとさせていただいております。こういった中で、友達の輪が広がって、仲間づくりが進んでいるということは聞いておりますので、重井小学校では2年間交流の期間がありますので、その中でしっかりと仲間づくり等をしながら、やっていきたいと考えております。以上です。</p>
<p>質問者 B</p>	<p>学校選択制度という制度がありますよね。複式学級になるのが学校再</p>

	<p>編の目安と書いてありましたけれども、何度ももう7、8年付き合っ てまいりましたけど、この問題について。学校選択制度があるからこそ重 井はこうなりました。事実、だって、もしなければですね、100人を 超える小学校、50人を超える中学生いるはずです。学校選択制度、今 の教育委員会の方々が、いろんな問題があったと思うんですけども、 やって良かったか、やらなかった方が良かったか、どちらかと、今日教 育長も来られていますので、もう、その一言でいいです。やって良かっ たのか、悪かったのか。重井の場合は、学校に行っている半分、約3分 の1以上が、半分の学年もあります。他の小学校に行っているところも あります。中学校は半分以上行っている学年もあります。それについて、 それだけに学校の閉校が決まるということについて、もし、やらなかっ たらまだあったと思うんですけど、それを今、本当に教育委員会の方々 がやって良かったか、悪かったかだけ、1人ずつ教えてください。一言 でいいです。</p>
<p>小柳学校教育 部長</p>	<p>1人ずつと言われているのですが、私が代表で言わせていただきます けれども、学校選択制度というのは、本当に意見交換会の時からずっと 重井の〇〇さんとのお付き合いを始めてから、ずっとこのテーマで議論 をしてきましたけれども、私たちとすれば、平成17年度からの市の政 策としてやってきまして、やはり学校選択制度があったから、学校の方 へしっかりと通えるようになったお子さんもいらっしゃいますし、様々 な背景がございます。ですから私たちとすれば、いろんな思いを持たれ ている方はいらっしゃると思いますけれども、今、学校選択制度を現に やっていて、やっぱり評価されている面もありますので、教育委員会と しては評価しているというところでもあります。良かったということであ ります。</p>
<p>質問者C</p>	<p>統合していったって、この通学面でスクールバスを出すですとか、そうい った感じの話というのは、ここにある、小中一貫教育校準備委員会とい うのが立ち上がってから詰めていくということによろしいんでしょう か。</p>
<p>安保学校経営 企画課長</p>	<p>通学支援についてですが、路線バスの活用ですとか、どういった時に スクールバスの運用を検討していくかという基準については、前回ご説 明させていただいたんですが、具体的な通学支援の在り方については、 先ほど言われたように、今後、小中教育一貫校準備委員会を立ち上げて から、その中に保護者や学校関係者、教育委員会も一緒に入りますので、</p>

質問者D	<p>その中で具体的に話をしていくことになります。</p> <p>今回、先ほど校名を変更しないということで話があったんですけど、仮にですけど、もし、校名や校歌とか校章を変えるという場合、なったとしてたら、予算というのは教育委員会に予算自体はもう下りているんですかね。例えば、変えるにあたって、お金が実際に予算があるのかというところ、教えてもらえるのかちょっとよく分からないんですけど。まあ、何が言いたいかというと、さっきも「税金なので変えたらいいかなものか。」という意見があったようなんですけど、じゃあ逆に言えば、みんなが納得したお金の使い方をしていいのかなとちょっと逆に思いました、例えば、何に使うのかというと、体育館のエアコンの設置ですね。例えば、南海トラフが起きた場合、体育館って避難場所になると思うんです。そういった場所に今、エアコンとか設置できていない小中の公立学校が、確か2割ぐらいでしたかね、エアコン設置率が。だからもし予算が余りがあるんだしたら、そういったところにお金を投資してもらって、この機会なので体育館にエアコン設備入れたいんで、いざという時の、予備のためにも投資してもらえたら、誰もが納得する使い方なんじゃないのかと、ちょっと思ったんですけども。そういったところは考えたりはしていただけるのかなというのが、せっかくの機会なんで、ちょっと聞いてみたいんですけども。</p>
榎原因島瀬戸田地域教育課長	<p>施設の改修というのも、当然この度いろいろ検討させていただいております。今、予算が、学校名を変えることによって、実際確保されているのかというと、それはそういったことはございません。ただ、本当にそうなった場合は、実際、そういった予算の確保をしていくという作業が必要になってくるということは説明させていただいていると思います。その予算を施設改修に回せるかというのは、ちょっとまた別の話になると思うんですね。それで、今、体育館のエアコンはというお話、これはいろいろ全国的にも、近隣の市町でも取組を始めているところだと思うんですが、尾道については、本当にまだまだこれからで、今そういった研究を、いろいろ情報収集をしたりとか、今そういった研究を始めているところでございます。ですから、この度それを、例えば統合で因北の体育館にその予算を回していくとか、因北だけにと、そういうことは考えておりません。やはり尾道としては、全小中学校、他にもたくさんございますから、施設を整備していくのは、やはり全体の中で考えていかなければいけないと考えております。今この学校再編で、施設の改修については因北の方になりますけれども、こういったことができ</p>

<p>質問者D</p>	<p>るかというのは、今、併せて考えているところです。ちょっと回答になっているかどうかはあれですけども、よろしくお願いします。</p> <p>もう1つだけいいですか。せつかくなんで。</p> <p>小中学校が重井からなくなってしまうと、やっぱり町民の方も寂しいという気持ちはもちろんありますし、行事ごとがなくなってしまうと、町が寂れるという不安から、どうしても校名を変えたりとかそういったところに繋がるのかのかなと思うんですけども、全国でもいろいろな学校が統合して再編していると思うんですけども、町から学校がなくなった地域で、寂れていくというのは言い方はちょっとあれなんですけれども、学校がなくなった小学校中学校の地域の、なくなった後の活用とといいますか、地域での取組が成功事例っていうんですかね、なくなっても元気に、よく活発に活動しているというのは、成功事例がある地域とか、もしあれば、アドバイスとか、こういうことをやっていますよっていう、学校がなくなっても大丈夫ですとか、こういう良い例もあるんですけども、例があれば、教えてもらったらいいかなと思うんですけども。</p>
<p>小柳学校教育 部長</p>	<p>人それぞれ感じ方がありますので、それが全部に共通するかどうか分かりませんが、例えば因島南小学校ですけども、土生・三庄・田熊が統合いたしました。ここは今も、それぞれの公民館祭り等にその地域の子どもさんの作品展示をしたりとか、地区の子が出演したりとかしながら、地域と学校を繋いでいるような状況があります。</p> <p>尾道市内は、これまで再編したところは、どこにも公民館を拠点として残っています。例えば、瀬戸田でいいますと、東生口にも公民館があるんですね。やはりそちらの方でも、地元のお子さんが活躍できる場というものを作っていただいていますので、ある程度、尾道の場合には、公民館活動を中心として、地元の子がそこに帰って活動している。学校も協力して、作品展示でありますとか、敬老会への出席であるとかということもさせていただいておりますので、再編前と100%同じということにはなかなかいかないと思いますけれども、できる限り、地域でありますとか、PTA・子ども会の場合もあると思います。学校、これは再編前にいろいろと事前に話をして、再編後の在り方等も、事前に協議をする中で、そういったことを今されている地域が、尾道市内だと結構そういうような状況にあると思います。</p>
<p>質問者E</p>	<p>自分の娘が中学校2年生でテニス部に所属しているんですけども、</p>

今年の春、部活で学校の教員の先生が、骨を折っていただいて、運動公園で、中学校3校のテニス部で合同練習をしようということで組んでくれたんですけども、生徒の交流を図るという意味ではすごくいいことだったんですけど、今、部活の顧問の方を、外部講師を使ったりとかされていると思うんですが、その中で因北中の学校のテニス部の方がですね、変な癖が付くから一緒に練習できないということで、練習は完全に別で分けて因北は別で、因南と重井の所属の部活の子たちは一緒に練習をして、因北の子は完全に別で分けて一緒に練習をしないという状態で部活が行われたことがあるんですよ。

顧問の先生ともちょっと話をすると、「一緒に練習をしましょう。」というのは、因南中の方に関しては、部活の指導が教諭なので申し入れがしやすいんですけど、因北は外部の方でしにくいというような声が、現場の教員の方からも出てまして、そんな状態で、生徒の交流を図らないといけない。公立校で部活も一緒にやって、生徒の交流も必要になってくる中で、大人側の問題として、契約の関係もあると思うんです。自分の契約している中学校を優先して外部講師の方は教えたいという、強化したいという思いもあるとは思うんですけど、そんな状態で、学校を統合するにあたって、大人側の問題で生徒の交流が図れないとかっていうのは、ちょっと問題があるのではないかなと思うんですが、教育委員会の人選とか今後の指導方法について、教えていただけないでしょうか。

小柳学校教育
部長

中学校の部活のことをお聞かせいただきました。私たち、今のお話というのは把握しておりませんが、多分、因北中学校のソフトテニスされている方は、学校が依頼をしている方だと思われます。教育委員会としては、部活動指導員としては因北中学校には行っていただいておりますので、多分、学校が単独でお願いをしている方だというふうに思います。そういった中で、やはり合同でやったり、練習で刺激を受けるといのは大事なことだと思いますので、私どもも、今のそういった声を学校の方にも確認をさせていただいて、やはり大人側の問題で、子どもたちが不利益を得るといことは、私たち教育委員会としてはぜひ避けたいことだと思いますので、ちょっと確認をさせていただいて、少しでも子どもたちが伸び伸びと部活動ができるように調整してみたいと思います。

質問者F

来年、重井小学校1年生になる子どもがいるんですけども、制服の購入のことについてお聞きしたいんですが、令和8年度に小学校に在籍する1年生から5年生には制服と体操服の支給を検討されるというこ

<p>安保学校経営 企画課長</p>	<p>となんですけれども、令和7年度に入学する1年生には検討されないということですかね。1年だけのために、制服を買わないといけないようになるのでしょうか。</p> <p>来年度、小学校1年生に入学するということですので、今の予定でいきますと、令和9年度、学校再編する時には小学校3年生として入学するというので、その時には、学校再編後の学校の制服は教育委員会の方で支給の対象として検討をしていきます。来年度入学する際の制服の支給はありませんが、学校再編時の制服については支給の方を検討していきます。</p>
<p>質問者F</p>	<p>分かりました。ありがとうございます。</p>
<p>質問者G</p>	<p>今1歳と3歳と5歳の子どもがいるんですけど、資料の尾道15年教育の推進とあるんですけど、1中学校区における1小学校及び認定こども園の推進というところで、おそらく、北認定こども園のことだと思うんですけど、重井にも行きたいんですけど、幼稚園があって、本当に園児が3、4人しかいないんですけど、先生方がすごく手厚く熱心に保育してくださって、避難訓練とか小学校の行事があったら、みんなで見に行ったりとか、そういう交流もすごく、本当に日頃から一生懸命されていて、15年教育も大事だと思うんですけど、こうやって少人数でも熱心に頑張ってくださっている先生方や幼稚園があるということをお忘れしないでほしいなと思いました。本当に先生方、本当に一生懸命やってくださっていて、そういう幼稚園もあるんだよということをお忘れしないでいただきたいのと、来年度も重井幼稚園は継続しますと言われていたので、ぜひそういった小さいながらも、それぞれ頑張っているところをお忘れしないでほしいなということと、よく支援センターに遊びに行ってるんですけど、支援センターの先生から、ここで説明会があった後に「重井から反対意見があったらしいね。」みたいな感じで言われて、私もその時、そこに参加させてもらったんですけど、校名について、いろいろな意見を言われた方はいたけど、一緒になることについて、「それはやめてほしい。」みたいな反対意見というのは、私としてはなかったイメージがあって、どちらかという、子どもたちが一生懸命頑張れる、そういう環境にしてほしいという前向きな意見だとか、思いがぶつかった会じゃなかったのかなと個人的には感じました。なので、いろいろ話があっちに飛んで、こっちに話が飛んで、いろんなところでいろんな噂が広まっているような感じがそれを聞いてたので、重井も因北と一緒に</p>

<p>小柳学校教育 部長</p>	<p>ることに反対ではないなって、しっかり伝えていただきたいなと思いました。すみません。長くなりました。以上です。</p> <p>私もここにいるメンバー何人かで重井学園へ2回になりますか、こういうふうな、今、説明会をしていますとか、今後こういう説明をさせていただきますというようなことも話をさせていただきました。</p> <p>重井学園が、この重井地域の幼児教育の一角を担われていたプライドというものを園長先生からもお話をお聞かせさせていただく中で、私も感じておりますし、やはり、この学び舎が残っていくということは深い意味、重要なことなんだろうなと、すごく歴史もありますしということをお感じしております。</p> <p>小学校、中学校はこういう提案をさせていただいて、本当に心苦しいんですけれども、重井学園、学園地域、その辺が今後どうなっていくのかということも皆様方の本当に関心が高いところではないかと思っております。また、重井の方も、因北の方もいろいろな方にお話をお聞かせいただくと、やはり、子どもたちが仲良く学校で過ごすのが一番。ましてや、地域同士が、けんかじゃないですけども、そういった状況になることは望んでおられません。ですから、私たちもいろんな場で、子ども達の教育のために、皆さんの心が一つになるような働きかけは普段からさせていただいております。</p>
<p>質問者 I</p>	<p>1年生の保護者です。まず、初動がちょっとよく分からないんですが、3月の時点では小学校の再編はないという説明会でした。いきなり、PTA総会の4月半ばの総会で小中学校再編に変わったという話を聞いた上で質問なんですけど、これって、単純に吸収合併なのか、対等合併なのか、新設校なのかをとりあえず教えてもらわないと、話がまず進まないと思うんですよ。中庄の保護者からすると、重井が来るんじゃないというイメージしか持たれてないんです。なので、学校選択で勝手に来るぐらいの中庄の保護者はイメージを持っているので、その辺をちょっと、説明会で重井の側の意見をもうちゃんと、学校名は別としてですね、いろいろ、もっと説明する、向こう側に説明する必要があるのかなと思うんですけど、その辺はどのように。とりあえず、吸収、対等、新設校なのか。さっきからずっと新しい学校を作るみたいなことを言っているので、新設校だと僕は理解しているんですけど、それはどのようにお考えでしょうか。</p>
<p>小柳学校教育</p>	<p>この度の学校再編というのは、新設校ではありません。新設というこ</p>

<p>部長</p>	<p>とになりますと、全部の学校を一旦閉じて、新しい校名を作ったりするということですので、新設校ではありません。吸収という言葉も適切かどうか分かりませんが、私たちとすれば、因北中学校への学校再編というような言い方をさせていただいております。重井地域や保護者の方の思いというのは、これまでも因北の保護者説明会、地域説明会でもさせていただいておりますし、また、12月で行われる予定の説明会でも皆様方からいただいた声や意見はお伝えさせていただきたいと思っております。</p>
<p>質問者 I</p>	<p>じゃあ、最後にもう1点。であるならば、重井だけが閉校式を行って、因北小学校は閉校式を行わないという感じでしょうか。そうすると完全に吸収というイメージになってしまうんですけれども、それはどのようにお考えでしょうか。</p>
<p>小柳学校教育 部長</p>	<p>この度の学校再編というのは、学校再編基準に基づいて行っているものでございます。ですから、重井小中学校の方には閉校をしていただいて、因北小中学校はそのまま継続させていただくということで提案させていただいております。</p>
<p>質問者 I</p>	<p>最後に、じゃあ、やっぱり因北の保護者からすると、重井が来るという認識でこのまま進んでいくと思うんで、それは1年生の保護者として、やっぱり、去年の今頃、苦渋の決断をして1人ないし2人ぐらしか通わないかもしれないのを、僕は重井ですずっと育ててきて、愛着があるので選んで、できれば卒業させてあげたいなと思って入れたんですけど、その辺がちょっと残念だなというのと、やっぱり、どう言うたらええんですかね、因北に行ってねという感じにしか僕は捉えられないので、その辺が残念で仕方ないかなと思います。学校がなくなるいうたら、もう因島自体が少子高齢化が進んでいて、因島が30年後どうなるか分からない状態の中です、地域教育はすごく大事だと僕は思っているので、子どもらが盆正月に帰って来た時に、すごくいい町だと思わせるような地域になってほしいので、その辺をもうちょっと因島らしさも大事ですけど、やっぱり、重井、中庄、大浜とかという地域も大事だと思うので、その辺も加味して、教育方針をもう少し具体的に出してほしいなと思います。以上です。</p>
<p>小柳学校教育 部長</p>	<p>今いただいた意見というのは、意見交換会の中でもいただいたように思います。本当に重井小学校が大好きで選んで来られた保護者の方にと</p>

	<p>っては、本当に今回の提案というのは、何とも言えないお気持ちというか、許せないようなお気持ちになられているんじゃないかと思います。</p> <p>そういった中で、私たちも心苦しいのではありますけれども、こういった提案をさせていただいて、皆様方にご理解をいただきたいと思っております。正に、地域教育というのは大事だと思っております。重井、因北、大浜のそれぞれの地域の良さを活かした教育内容を、皆様方と、また地域の方と共に創ってまいりたいと思っております。今、具体的にこういうふうなカリキュラムになりますとは言えませんが、先生方とも、しっかり話をしていく中で、重井も大事、中庄も大事、大浜も大事、そういった教育を創っていきたいと考えております。</p>
<p>質問者 J</p>	<p>1点なんですけれど、小学校で鼓笛隊とか中学校でユネスコスクールは取組をされているんですけれども、統合された場合、この辺の取組ってどうされるんかだけ、ちょっと教えてもらえたらなと。プログラムの中に多少考慮しますよとか、いやもうそこは完全にゼロベースで、閉校なんで無しになりますよとか、その辺とか、あと、小学生は少人数複数なんで、どうしても学校を統合されるとマイノリティーみたいな感じで、重井の子が来たんやみたいな感じで、差別ではないけど、いじめの対象とかにならないようなフォローというの、どんな感じに考えとるかというのも教えていただけたら助かります。</p>
<p>金子教育指導課長</p>	<p>トランペット鼓隊はずっと歴史があって続いているものですので、できるだけ因北小学校にも引き継いでいけるように考えております。また今度立ち上げます小中一貫教育校準備委員会（仮称）の中でもしっかり話し合っていくことを考えております。</p> <p>また、ユネスコスクールについては、学校がユネスコスクールと認定されておりますので、新たな中学校でございますので、そのあたりはユネスコスクールの考え方を繋いでいくのか、また新たに因北中学校の方で取組いただくのかということも含めて、今後検討していきたいと思っております。</p> <p>また、いじめがないようにということもありますけれども、そういうところも含めまして、しっかり支援できる体制を整えていきたいと思っております。以上です。</p>
<p>質問者 K</p>	<p>本当に何度もすみません。うちの子は、学校見学、因島の学校を全部見学して本人が重井に行きたいと決めたんですね。重井で頑張りたいって言って。2年後の合併は決定事項なんですか。それとも最悪、今の1</p>

<p>小柳学校教育 部長</p>	<p>年生が卒業するまで待ってくれるっていう可能性はあるんですか。</p> <p>令和9年度が確定かという、まだ確定ではありません。ですけれども、今の1年生が卒業するまで待ってもらえるのかという、それも分かりませんというか、可能性とすればもしかしたら低いのかもかもしれません。私たちは今提案しているように、令和9年4月の学校再編ということで、皆様方にご理解をいただくよう、今取り組んでいるところなんですけれども、ここにいるメンバーで決定権はありません。決定権があるのは、教育委員会会議と議会になりますので、そちらの方で諮りをして承認をされれば、令和9年4月に学校再編をするということになります。もうしばらく皆様方には、ご不安を感じさせるような時間があるかと思えますけれども、私たちとすれば、できるだけ早く結論を出して、保護者の皆様に準備といいますか、子どもさんへの取組とかしていきたいと思っております。</p>
<p>質問者L</p>	<p>何点か質問させてください。結局、今、吸収という言葉は使いたくないとお話されていたんですけども、結局吸収ですよ。</p> <p>重井だけ閉校する。閉校式をするというので、結局、吸収という認識になるんですけど。結局、そういう認識がために、因北の人は重井が来るんだろうという空気感、重井の人はいろいろ悩んでいるということになっていると思うんですけども、認識として吸収という考えなら、それではっきり言ってもらったらいと思うんですけど。</p> <p>あと、もう1つ。先ほど、まだ令和9年度と決まっていないというお話だったんですけど、令和9年度に決まらないのであれば、今、うちに4年生の娘がいるんですけども、18人いるんです。ということはまた学校選択制度で揉めるんです。令和9年度になれば。実際、次男坊は中1で、今回13人のクラスの中で、3対10に分かれました。その際、学校選択制度でくじ引きになるじゃどうじゃで、僕尾道に行きました。結局、僕としては、教育委員会がはっきりしてくれないと何も進まないんですよ。今回の学校名にしても、最初のうちは、地域の方で意見があったらみたいにお茶を濁していた雰囲気だったと、間違っていたらすみません、そういう意見だったと思うんですけども、結局、そういうふうにお茶を濁して、地域の意見を聞くみたいなことを言うから、地域から「因島北にしてほしい。」というのが出て、もうちょっとしっかりしてほしいんですけど。結局、何もかも決まらないのであれば、教育委員会がはっきり。全部が後手後手に回っている。その割には、新聞報道で見るとか、テレビで見るとか、なんか順番が全部、説明も順番</p>

	<p>もばらばらにしか聞こえないんですけど、もうちょっとはつきりしてほしいと僕は思うんですけども。結局、吸収なら吸収でという方向性なら、方向性を示していただけたら、皆さんその方向性で動くと思うんですけども、今のままだったら、因北は重井が勝手に来るんじゃないかなみたいな雰囲気のままいって、子どもらがいざ集まった時に、うまいこといくようには見えないんです。なので、教育委員会にはしっかりしてほしいと思っています。</p>
<p>小柳学校教育 部長</p>	<p>そういったご意見については、真摯に受け止めさせていただきます。私たちの仕事は、やはり保護者の皆様の心配事を1つ1つ解決していくことだと思っております。私たちも因北小中学校の保護者の方とも、何度かお話ししたんですけども、本当に仲良く学校生活を送れるようにしていきたいということは常に言われておられます。そういった雰囲気の醸成を地域の方も含めて、保護者の方、そして学校の教職員としていきたいと思っておりますので、本当に、早期にそういったものを、年度内には決着をつけて、来年度再来年度の2年間でしっかり時間をかけて子どもたちの交流、慣れる期間を作る。また、保護者の中でのPTA組織も考えていかなければならないですし、一貫教育校準備委員会の中で保護者同士の交流もしっかり図っていただく、また、コミュニティ・スクールを活用して、地域の方にも参画していただく中で一体感の醸成というものを作りたいと考えております。</p>
<p>質問者M</p>	<p>小中一貫校教育について質問したいんですけども。 校長先生が2人いると言われました。ここにいるメンバーは、PTAのトップをしたメンバーばかりです。私は、先ほど教育長も言われました、ワケギ栽培を中心はずっとやってきて、人間として、よく分かってくださると思うんですけども、校長先生、小学校も中学校も2人いたら、重井の場合はどうか分かりませんが、教育方針が違います。いろんな校長先生を見てきましたけれども、違う先生たちが、同じ教育方針を持って9年間を過ごさせる学校を創るというのは、それはお二人にさせるのか、それとも教育委員会がやらせるんですか。それをお聞きしたいと思います。</p>
<p>小柳学校教育 部長</p>	<p>小中教育一貫校の校長が2人いるということですが、学校教育目標とか、全てのものを統一していきますので、校長がそれぞれ単独で勝手な判断ですということとはできないと思っております。これは、学校経営になるので教育委員会がさせるというとは考えにくいと思いま</p>

<p>質問者M</p>	<p>す。校長先生同士がしっかりと連携をしていく中で、学校経営を小中一貫教育校としてやっていくという考え方になると思います。</p> <p>本当にそれでいいんですか。いろんな校長先生を見てきました。本当に見てきたんですよ、私たちここにいるメンバー。絶対に違うなという人もいれば、その人たちが、2人がどういう指導を求めるのかというのは、全然事情が変わってくると思うんですけども、2人トップがいるというのはどうなんかなと思うんですけども、それは重井だけでなく、因北でもそうなるのであれば、因北小学校の保護者の方々も、因北中学校の保護者の方々も多分思われている、そういう意見があったかどうかは知りませんが、教育委員会が何もしないのであれば、会社だとすればしんどくないですか、普通の会社なら。本当にそれでいいのであれば、それでいいですけど、そこはもっと詰めてほしいなと思います。</p>
<p>小柳学校教育部長</p>	<p>学校経営については、校長に任せますけれども、必要な指導は当然教育委員会ですから、します。小中一貫教育校を立ち上げる時にも、教育委員会がある程度主導して、こういう学校づくりをするというのはやります。今の尾道みなと中学校区も小中一貫教育校を今目指して、あと4か月ほどで開校しますけれども、ここは1中2小。3つの学校が1つの学校教育目標や経営目標の下やっていく今準備をしています。</p> <p>また、県内でも、小中一貫教育校は、かなり今、呉市なんかは全部の中学校区が一貫教育校ですけども、全国的に見ても、満足度というのは100%はいかないですけども、95%、96%ということで、一貫教育校になって良かったという評価があるということもありますので、ぜひ、モデルとなると言わせていただいておりますので、尾道のスタンダードモデルとなるような学校を実現したいと思っております。</p>
<p>質問者N</p>	<p>意見です。これもう、随分昔になるんですが、今の平谷市長が、現実この場で「因島南中が合併した後に、重井の合併は、僕の在任期間中はしない」と言ったんですよ。これは余談だが、この状況になって全く関係ないんですけども、因島南小学校、中学校で結構大変だったからかもしれないですし、そういつて言われて、今まだ平谷市長なんですけれども、平谷市長から一切、こう発信がないんですけど、その辺はどうなんですか。これは余談ですが、あくまで、何か意見をくださいとかいう意味ではなくて。でもそういつて言ったのは事実で、重井の町民が聞いている中で言っていたので、その辺がちょっと引っかかる部分ではあ</p>

質問者○	<p>るので。これは余談です。しょうがないのは分かるんです。でも何にもないのは引っかかるなど少しあります。以上です。</p> <p>こういう話、全く分からなくて、今回初めて聞いた状態なんですけれども、0歳と3歳の子どもがいて、まだまだ先の話と言えばそうなんですけれども。いつかは因北の方へ行かないといけないだろうなどは子どもが生まれた時点で思っていたんですけれども、小中一貫教育校というところが、私の中ではぴんとこなくて、別々の建物にそれぞれトップの方がいる中で、一貫した教育って本当にできるのかなというのが、結婚する前、ここじゃなくて、尾道ではない別の市にいて、仕事柄、別々の建物にはそれぞれの事情というものがあったりして、そこを上手く9年間を通して教育課程を作っていくのが、なんか建物が違うだけでも、結構大きいなというのがある中で、更にトップも違うって本当にできるのかなっていうのが私の中では、今日の話聞く中では、ん？本当に大丈夫？子どもをそこに通わせても本当に大丈夫なのかなという不安は今日思いました。意見というよりは感想みたいな感じなんですけど。以上です。</p>
小柳学校教育 部長	<p>小中一貫教育校というのは、今尾道には現実なくて、来年度の尾道みなと小学校、尾道みなと中学校区が初めてで、ここが2つ目ということで、新しい尾道市としての試みでもあります。なじみがないというところで、どんな学校になるんだろうと、よくご質問をいただきます。それで、今の小中と一貫教育校は何が違うかとか、建物が離れているのに一貫教育校になるのかとか、一貫教育校なら同じ敷地じゃないのかとか、いろいろなご質問をこれまでいただいております。今日、お渡しております資料2の中に一貫教育校のこともご説明させていただいているんですけれども、まだこれでも分かりにくいということでありましたら、また2月等話をさせていただく中でかみ砕いたもの等で話をさせていただきたいというふうに思います。</p> <p>小中一貫教育校の、私たちが考える良さというのは、1番は子どもたちが9年間同じ指導方法で授業を受けたりとか、生徒指導がなされるということだと思います。今は小学校は小学校のやり方、中学校は中学校のやり方で、別々のやり方をしておりますが、一貫教育校になると9年間同じ指導方法等で、子どもたちが慣れ親しんだやり方で9年間できることが1番のメリットだと思っておりますので、またそういったところ等も説明等をさせていただきながらご理解をいただきたいと思います。</p>

<p>質問者 J</p>	<p>度々すみません。小中一貫教育で、新しい尾道みなと小中学校は、中学校1つ小学校2つで、各校長が3人いる状態だと思うんですけども、運営は教育委員会のチェックが入ると思うんですけども、現場のすり合わせとか校長間の意見のすり合わせみたいな組織みたいなのは作って運営されるのかとか、その辺はちょっと教えていただけたら助かります。</p>
<p>小柳学校教育 部長</p>	<p>これについては、私たちもやりなさいと投げるのではなくて、教育委員会も参画しながら、来年度から推進委員会というものを立ち上げて、当然、校長同士が連携できる機会や先生同士が交流できる、一緒に研修する機会を作るとか、そういった組織を作った中で小中一貫教育を進めていくというふうに考えております。本当に、できたからよしではなく、できてからの方が重要だと思っておりますので、そういった体制作りも含めて教育委員会が入ってしっかりと支えていきたいと思えます。</p>
<p>質問者 J</p>	<p>じゃあ、基本的には結局、因北の小中学校も同じようなものができて一体化になっていくというような感じになるんですかね。</p>
<p>小柳学校教育 部長</p>	<p>全く尾道みなと小中学校と同じやり方でしていきたいと思っておりますし、今提案している、スライド6にあるような、教育環境の充実で言いますと、これは尾道みなと中学校区と同等かまたはそれ以上ぐらいのことを今考えて進めていこうとしております。</p>
<p>質問者 P</p>	<p>1つだけ。小中一貫校のモデルっていうのは、尾道市でもまだ因島と2つ目ということで、全国的に見てどのくらい進んで、というか取り組んでいるものなんでしょうか。それと今後、一貫校のモデルっていうのは全国でも学校の再編が進んでいくと思うんですけども、それがスタンダードになっていくんでしょうか。</p>
<p>小柳学校教育 部長</p>	<p>小中一貫教育というのは2つありまして、義務教育学校と小中一貫教育校があります。小中一貫教育校は小学校6年と中学校3年をそのまま活かした6・3制を取り入れています。義務教育学校は基本的には同じ施設の中で9年間子どもが過ごして、例えば4・3・2とか、4年生の初めの段階、3年間の小と中を繋ぐ段階、中学校の最後の2年間というように発達段階に応じてカリキュラムを作るシステムなんですけれど</p>

も、今、全国的には正確ではないかもしれませんが、20%台ぐらい、今移行してきています。お隣の府中市は義務教育学校が2つと小中一貫教育校が2つ。呉市は全ての中学校区が小中一貫校をやっています。県内的にも、今義務教育学校は、福山市は鞆の浦とか想青学園とかできていますし、こういった一貫教育化というのは全国的に加速しているような状況にあるのは事実です。

質問者Q

今日来て、人の少なさにびっくりしたんですけど、以前に説明されていたら申し訳ないんですけど、例えば、小学校中学校の保護者の方には全員、こういう、例えば参観日の後とかにこういった説明会が行われたよとか、そういったことがあってのこういう夜の会なのか、そういうのはなしで、こういう保護者対象の会っていうのが開かれているのか、ちょっとふと疑問に思って、ただこれだけの人数しか直接話を聞いていないのにどんどん話が進んでいくのもなんか怖いなってふと思いました。実際こういうふうにPTAの役員の方が来られているんですけど、もうそういう説明会があった上での代表の方が来られているのか、そうじゃないのかっていうところが知りたいです。

小柳学校教育
部長

これまでの参加の状況ということですがけれども、これまでやってきたのは、令和5年12月ぐらいから、保護者の方と意見交換を、小学校と中学校それぞれ2回ずつさせていただきました。1回目の説明会は8月に行いましたけれども、これをするにあたりまして、小中学校の保護者の方に案内文を配るとともに、コドモンで開催の案内もさせていただきました。来られなかった方も、当然おられますので、全保護者に第1回目の説明会資料を学校から配付していただいて、質問等があった場合には、全員からコドモンで質問をお受けして回答したという流れになります。2回目も案内は同じようにさせていただいて、今日を迎えています。

事前にPTA会長に、こういった説明をさせていただきますという説明をさせていただいた上で、2回ともお邪魔させていただいているんですけども、参加されるかどうかというのは保護者のご判断ですので、私どもではなんともコメントしにくいんですけども、今日もこうやって資料をお配りしますので、また、小中学校の保護者の皆様には資料を配らせていただいて、理解を深めていただければというふうに思います。

就学前の方には今回ご案内させていただいたんですけども、1回目の時にご案内させていただければ良かったのかなと思っております。地域の集まりの中に来ておられましたけれども、多分、就学前の方から見

<p>質問者 R</p>	<p>るとあの時は意見が言いにくかったのではないか、まあ、言ってくださった方もありましたけれども、保護者の中で意見を言っていた方が良かったのかなと、その辺は参加体制については私どもも反省する面もありましたので、今後はそういった面も活かしてまいりたいと思います。</p> <p>僕から最後一言だけ。昨年度、因島島内で生まれた幼児数とか、新生児の数とか把握されてると思うんですけれども、恐らくですけれども、僕の記憶では50人程度じゃないかなと思うんです。そうすると、6年7年後には、本当に因島で1校にするとかという話が進んでくるのかと思うんです。もっと言ったら、今の新生児とか1歳児とかの保護者とかもっと不安になるような状況が、12年後の中学校に上がる時にもしかしたら中学校1校しかないとか、そういうことで3年後に中学校は1校になりますとかいうような発信が急に出されるとやっぱり保護者は不安になるので、それは全く考えていないとかではなくて、そういう指針を教育委員会は早目に保護者に対して出しておくべきではないかなと僕は感じています。今回のこのようなことがないよう未然に防ぐというんですかね、不安にならないよう、子どもが1番不安なので。そういうところを早目早目に、10年計画ではないですけれども、そのぐらいの未来をちょっと早目に提案されたらどうかなって、そういうふうにすると、もっとスムーズに、住民も保護者も納得して進んでいくのかなと思うので、意見としてちょっと言わせてください。</p>
<p>小柳学校教育 部長</p>	<p>意見としてお伺いしました。そういった面もかなり島内の中で話があるのでのではないかと思います。この重井地域の意見交換会の中でも出てきました。それから因北地域の説明会の中でも出てきました。昨年度、1年間で出生している数というのは40人。因島全体で40人です。そういった状況を見ると、そのような議論は待たなしと言われる方も実際おられます。私たちは今現在は、そういった次の再編計画は持っておりませんが、今、市内全体で昨年度出生しているのが514人ということですので、今の中2が1020人います。中2が1000人最後の代なんですけれども、今生まれているお子さん514人ということで約半減しているような状況になります。市内全体で、学校をどのように子どもたちの教育環境を維持していくのかという観点で、今検討を始めております。すぐに検討結果が出るわけではございませんけれども、市民の皆様や保護者の皆様にまた説明する機会が来るのではないかと考えております。</p>

<p>司会者</p>	<p>他に質問や感想、意見等ございましたら挙手をお願いいたします。 よろしいでしょうか。</p> <p>(質疑なし)</p>
<p>司会者</p>	<p>ないようでしたら質疑応答の時間を終わらせていただきます。 本日のご質問、ご意見を参考にさせていただきながら、今後の学校再編に対する取組に活かしてまいります。</p> <p>以上で閉会いたします。保護者の皆様本日はありがとうございました。</p> <p>(終了 20:45)</p>

※議事録中の質問者を示すアルファベットは一連の質問の流れを示すものであり、異なるアルファベットであっても、同一の方のご発言である場合があります。